

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年3月 福島県立医科大学医学部放射線医学講座 伊藤浩

【研究課題名】呼吸に伴う腹腔動脈変動のCT画像を用いた評価

【研究期間】2022年3月～2024年2月

【研究の意義・目的】

腹腔動脈の頭側に位置する正中弓状靭帯は腹腔動脈の狭窄に関与しているといわれており、血流異常や内臓臓器虚血の原因となることが知られています。また、CTでの画像検査でも約7%に無症候性狭窄があることが知られています。正中弓状靭帯は吸気時と呼気時の呼吸性変動により腹腔動脈の狭窄や腹腔動脈の分岐角度の急峻化を引き起こしますが、狭窄の程度や腹腔動脈の分岐角度について言及している研究はありません。

本研究では呼吸性変動による腹腔動脈の分岐角度や狭窄の変化を明らかにすることを目的としています。同時に腹腔動脈や胃十二指腸動脈、脾十二指腸動脈の拡張について腹腔動脈狭窄との関連について動脈径を測定して明らかにすることを目的とします。

【研究の対象となる方】

2016年1月から2020年12月までの間に1回の腹部造影CTで吸気・呼気時の撮影が行われた患者を対象としました。

【研究の方法】

1. 2016年1月から2020年12月までの間に1回のCT撮影で吸気時と呼気時の腹部造影CTを撮影された症例を検索します。
2. 画像処理ワークステーション（Zio station2）を用いて、吸気時と呼気時の腹部CT画像データを矢状断に再構成します。
3. 腹腔動脈の起始部の角度を吸気・呼気時のCT画像で測定します。
4. 正中弓状靭帯部での腹腔動脈の角度を吸気・呼気時のCT画像で測定します。
5. 腹腔動脈の狭窄について画像処理ワークステーション（Zio station2）を用いて、吸気時と呼気時のCT画像で測定します。同時に血管径を測定し、拡張の有無を調べます。
6. 吸気時と呼気時における腹腔動脈の角度の違いや狭窄の程度を測定し、その程度について統計学的に解析します。腹腔動脈や胃十二指腸動脈、脾十二指腸動脈の動脈径を測定し、狭窄や角度との関連についても比較検討および解析を行います。

【研究組織】

	（所属）	（職）	（氏名）
研究責任者	放射線医学講座	教授	伊藤浩
研究分担者	放射線医学講座	助教	関野啓史
研究分担者	放射線医学講座	准教授	石井士朗

【他の機関等への試料等の提供について】

該当事項はありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当 関野啓史
電話:024-547-1334 FAX: 024-547-3789
E-mail:sekino@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当 関野啓史
電話:024-547-1334 FAX: 024-547-3789
E-mail:sekino@fmu.ac.jp